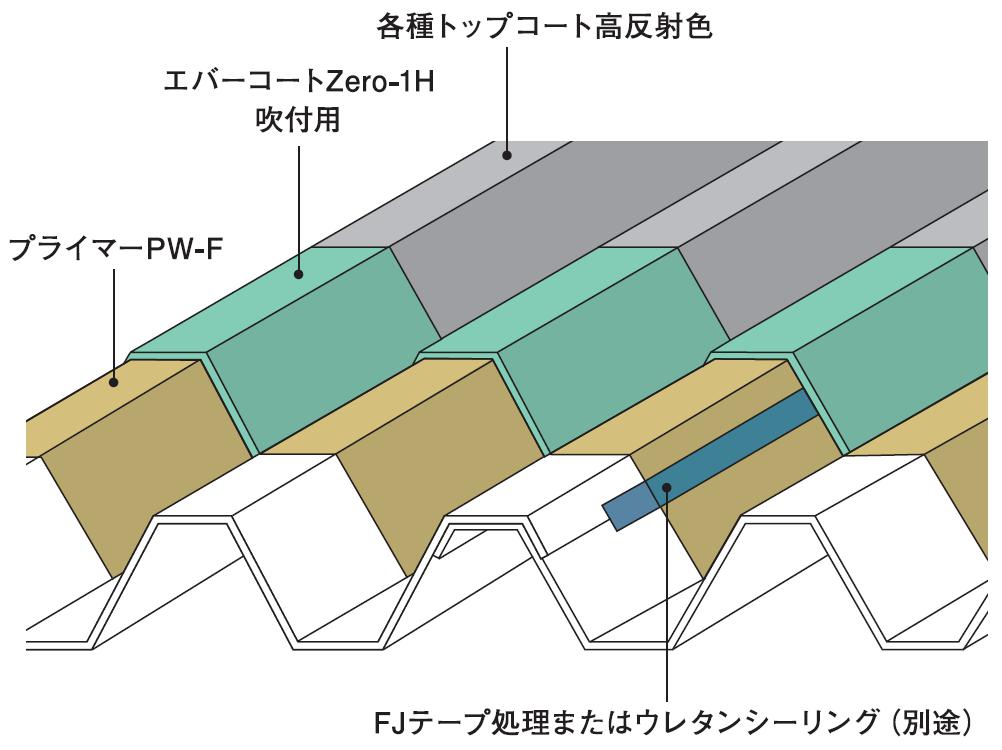
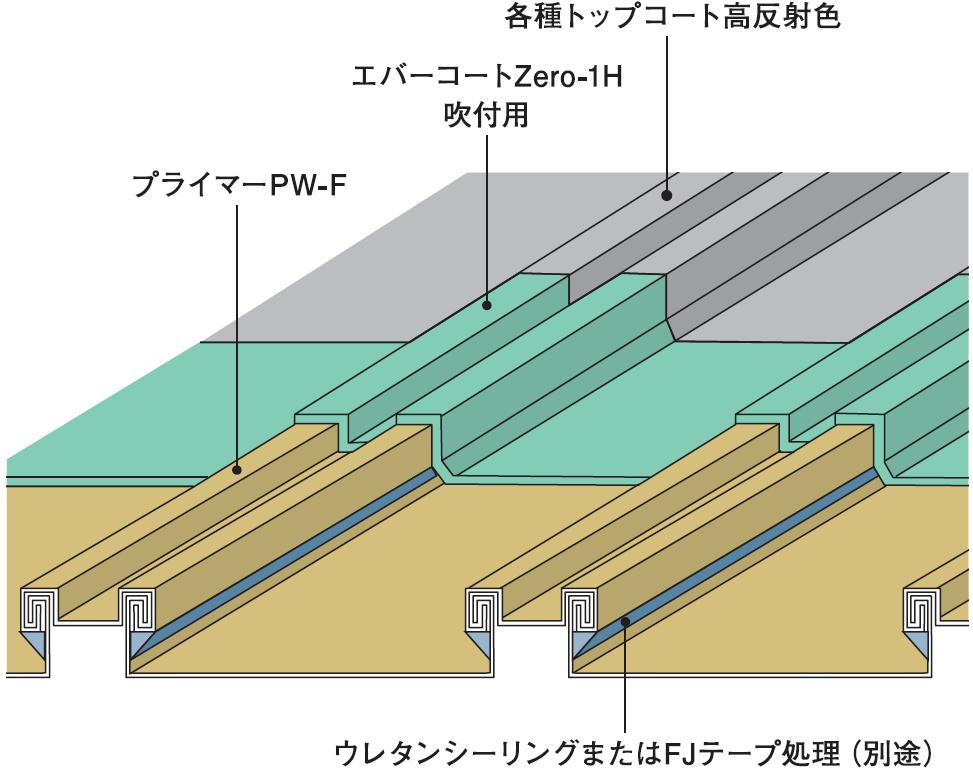
金属屋根（折板・瓦棒）改修工法

ZHYK-170K

【施工要領書】

シーカ・ジャパン株式会社

**施工仕様**



密着工法　平均厚１.７㎜

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） |
| １ | 下地調整（素地調整）※１ |  |
| ２ | プライマーＰＷ－Ｆ | ０.１５㎏～ |
| ３ | はぜ部・ジョイント部の処理（シーリング材） |  |
| ４ | エバーコートＺｅｒｏ－１Ｈ 吹付け用 | ０.８㎏※２ |
| ５ | エバーコートＺｅｒｏ－１Ｈ 吹付け用 | ０.８㎏※２ |
| ６ | エバーコートＺｅｒｏ－１Ｈ 吹付け用 | ０.８㎏※２ |
| ７ | 各種トップコート（高反射色）※３ | ０.２㎏ |

※１　下地の状態により、素地調整方法の選定が必要です。

※２　ローラー施工の場合は、吹付け施工の場合の１工程での塗布量と異なります。

仕様の合計塗布量が塗布できるよう工程数を増やしてください。

※３　トップコートは、ＤＳトップ・ゼロ、ＡＳトップ・ゼロ、

オートップ・ワン、エクセルトップ、ＳＱトップの高反射色より選択して下さい。

**使用材料一覧**

| 品名 | 荷姿・入目 | 配合比 | 材質 |
| --- | --- | --- | --- |
| プライマーＰＷ－Ｆ | １２kg／セット | 主剤：硬化剤  ＝１：１ | ２成分形エポキシ樹脂  プライマー（溶剤系） |
| 主剤　　６㎏／袋  硬化剤　６㎏／袋 |
| エバーコート  Ｚｅｒｏ－１Ｈ 吹付用 | １８㎏／缶 | １成分形 | １成分形ウレタン防水材 |
| ＤＳトップ・ゼロ  （高反射色） | １５kg／セット | 主剤：硬化剤  ＝２：３ | ２成分形アクリルウレタン樹脂トップコート  （弱溶剤系） |
| 主　剤　６kg／缶  硬化剤　９kg／缶 |
| ＡＳトップ・ゼロ  （高反射色） | １５㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝２：３ | ２成分形アクリルシリコン樹脂トップコート  （弱溶剤系） |
| 主　剤　６㎏／缶  硬化剤　９㎏／缶 |
| オートップ・ワン  （高反射色） | １５kg／缶 | 1成分形 | 1成分形アクリルウレタン系トップコート（水系） |
| エクセルトップ  （高反射色） | １４㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝３：４ | ２成分形ハルスタイプアクリウレタン樹脂トップコート（溶剤系） |
| 主　剤　６㎏／缶  硬化剤　８㎏／缶 |
| ＳＱトップ  （高反射色） | １５㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝２：３ | ２成分形アクリルウレタン樹脂トップコート  （溶剤系）速乾タイプ |
| 主　剤　６㎏／缶  硬化剤　９㎏／缶 |

**施工の流れ**

|  |
| --- |
| 金属屋根（折板・瓦棒）改修工法 |
|  |
| 下地調整（素地調整） |
|  |
| プライマーＰＷ－Ｆ塗布 |
|  |
| はぜ部、ジョイント部の処理（シーリング材） |
|  |
| エバーコートＺｅｒｏ－１ Ｈ 吹付用塗布  （１層目） |
|  |
| エバーコートＺｅｒｏ－１ Ｈ 吹付用塗布  （２層目） |
|  |
| エバーコートＺｅｒｏ－１ Ｈ 吹付用塗布  （３層目） |
|  |
| 各種トップコート（高反射色）塗布 |

**施工要領**

**平場**

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １ | 下地調整（素地調整） |
| 下地の状態により、既存塗装の目粗し、研磨をおこなう。 |
| ２ | プライマーＰＷ－Ｆ塗布 |
| 下地処理確認後、良く清掃し、プライマーＰＷ－Ｆをローラー等の工具で  ０.１５㎏～／㎡を均一に塗布する。 |
| ３ | はぜ部・ジョイント部の処理 |
| はぜ部・ジョイント部には、ウレタンシーリング処理をおこなう。 |
| ４ | エバーコートＺｅｒｏ－１Ｈ 吹付用（１層目）塗布 |
| エバーコートＺｅｒｏ－１Ｈ 吹付用を塗装用吹付機を用いて、０．８㎏／㎡を均一吹付ける。  その際、塗布量が多くなるとダレ等が発生するので注意する。  また、吹付け作業時には養生等による飛散対策を講じる。 |
| ５ | エバーコートＺｅｒｏ－１Ｈ 吹付用（２層目）塗布 |
| エバーコートＺｅｒｏ－１Ｈ 吹付用を塗装用吹付機を用いて、０．８㎏／㎡を均一吹付ける。  その際、塗布量が多くなるとダレ等が発生するので注意する。  また、吹付け作業時には養生等による飛散対策を講じる。 |
| ６ | エバーコートＺｅｒｏ－１Ｈ 吹付用（３層目）塗布 |
| エバーコートＺｅｒｏ－１Ｈ 吹付用を塗装用吹付機を用いて、０．８㎏／㎡を均一吹付ける。  その際、塗布量が多くなるとダレ等が発生するので注意する。  また、吹付け作業時には養生等による飛散対策を講じる。 |
| ７ | 各種トップコート（高反射色）塗布※ |
| 主剤・硬化剤からなる各種トップコート（高反射色）を規定の配合で混合攪拌し、ローラー・刷毛等の工具で０.２㎏／㎡を均一にムラ無く塗布する。 |
| ８ | 養生 |
| 施工終了後、１日以上養生する。 |

* 「オートップ・ワン」は1成分形トップコートのため、主剤と硬化剤の混合撹拌はありません。

|  |
| --- |
| 免責事項  ここに記載された情報およびその他の助言は、シーカの推奨する通常の条件下で適切に保管、取扱および適用された場合の製品に関するシーカの現在の知識と経験に基づいて誠実に提供されるものです。本情報は、本書で明示的に言及されている用途および製品にのみ適用されます。基材の変更など、用途のパラメータが変更された場合、または別の用途に使用する場合は、シーカ製品を使用する前にシーカの技術サービスにご相談ください。本書に記載されている情報は、製品の使用者が意図された用途や目的に対して製品をテストすることを免除するものではありません。すべての注文は、当社の現行の販売および納品条件に従って受理されます。ユーザーは、常に該当する製品の最新版の製品データシート又は製品カタログを参照する必要があり、そのコピーはリクエストに応じて提供されます。 |